令和8年度(２０２６年度)　八楠のんのん保育園の自己評価結果

保育所保育指針では、「保育所は、保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価結果を踏まえ、当該保育所の保育の内容等について自ら評価を行いその結果を公表するよう努めなければならない。」と明記されています。

自己評価の結果を踏まえ、今後もより良い保育を提供できるよう努力してまいります。

☆自己評価結果集計

A	かなり出来ている	C	あまり出来ていない
B	ほぼ出来ている	D	ほぼ出来ていない

分野		回答 A	B	C	D
1	生命の保持　(設問３問)	33　%	61　%	6　%	0　%
2	情緒の安定　(設問４問)	54　%	42　%	4　%	0　%
3	健康　(設問９問)	24　%	74　%	2　%	0　%
4	人間関係　(設問５問)	44　%	53　%	3　%	0　%
5	環境　(設問５問)	27　%	70　%	3　%	0　%
6	言葉　(設問４問)	38　%	62　%	0　%	0　%
7	表現　(設問４問)	17　%	53　%	30　%	0　%
8	食育　(設問５問)	23　%	67　%	10　%	0　%
合計		33　%	60　%	7　%	0　%

≪園全体の評価≫

常に職員間で連携を取りながら子どもに接し、昨年度より高評価な結果に繋がった。
どのクラスも隔たりなく、子どもの成長発達や関わりを全職員で考慮し、保育を工夫していた。
それぞれの子どもが「自分で生きていく力」を付けていけるよう、生活全般において丁寧な関わりを持てていたと思う。
昨年度、楽器遊びへの取り組みが低評価だったため、季節の歌に着目し、歌を通して楽器やリズム遊びを取り入れていった。

≪来年度の課題≫

玩具や遊びがマンネリ化しないよう、新しい遊びや玩具についての研修を行い
職員間で情報共有し、子どもの発達や興味に合わせた遊びを取り入れていく。

2025年度 保育士の自己評価表集計(1/2)

A	かなり出来ている
B	ほぼ出来ている
C	あまり出来ていない
D	ほぼ出来ていない

(1)生命の保持

	設問	A	B	C	D
1	生理的欲求を満たし生活のリズムを整えることが出来たか。	67%	33%		
2	安全に十分留意しながら行動範囲を広げることが出来ていたか。	33%	67%		
3	基本的生活習慣が身につくよう子どもや保護者に十分に指導することが出来ていたか。		83%	17%	

(2)情緒の安定

	設問	A	B	C	D
1	子どもの示す欲求を理解し、答えてあげることが出来たか。	33%	50%	17%	
2	スキンシップをとり、安心を感じることのできる機会を取ることが出来ていたか。	67%	33%		
3	自我の芽生えを理解し、それを受け止めることで情緒の安定を図ることが出来たか。	50%	50%		
4	子ども達一人ひとりの特性を生かし褒めることで自信が持てるような保育を心掛けていたか。	67%	33%		

(3)健康

	設問	A	B	C	D
1	子どもの発育の個人差に配慮が出来ていたか。	33%	67%		
2	身の回りの簡単なことは「自分でやってみよう」とする意欲を出させることだ出来たか。		100%		
3	おむつからパンツへの排泄の自立を計画的に進めることが出来たか。	17%	66%	17%	
4	衣服の着脱、後始末などを自分で出来るようになるように声掛けや配慮が出来たか。	17%	83%		
5	基本的な生活に必要な活動(手洗い、うがい、排泄、所持品の始末等)を自発的にさせるような声掛けをしたか。	50%	50%		
6	様々な動きを通して体を動かすことへの充実感や達成感を味わうことが出来るように配慮したか。	33%	67%		
7	子どもの健康を意識して予防を務めたか。	50%	50%		
8	感染症について理解し、保護者に伝えることが出来たか。	17%	83%		
9	怪我に対しての予防や処置を十分に行うことが出来たか。		100%		

(4)人間関係

	設問	A	B	C	D
1	子どもとの信頼関係を築き、安心できる空間をつくることが出来たか。	67%	33%		
2	保育士や友達に興味を持ち自ら関わろうとするよう配慮出来たか。	67%	33%		
3	人とのつながりを大切にし、友だちとの信頼関係を深め仲良く遊べるような声掛けや配慮が出来たか。	33%	67%		
4	集団での遊びを通してルールを守る事や相手を思いやる気持ちをもてるよう指導出来たか。	17%	66%	17%	
5	友だちの意見に耳を傾け思いやりを持たせることが出来たか。	33%	67%		

2024年度 保育士の自己評価表集計(2/2)

(5)健康

	設問	A	B	C	D
1	安心できる人的・物的環境をつくり「感覚」の働きを豊かにするように配慮出来たか。	17%	83%		
2	遊具やおもちゃを工夫し子どもが興味を持って積極的に関わることだ出来るようにしたか。	17%	83%		
3	季節の歌や自然に触れながら四季を感じれるようにする。	50%	50%		
4	季節の移り変わりを楽しみ、その違いや変化に気づくような声掛けが出来たか。	50%	50%		
5	動植物にふれることで命の尊さや大切さに気づくような声掛けをし、子ども達の理解を得ることが出来たか。		83%	17%	

(6)言葉

	設問	A	B	C	D
1	語りかけを多くし、子どもたちとの言葉を使った応答的関わりを十分に行ったか。	50%	50%		
2	発達段階に応じた絵本や歌・言葉遊びを通して語数を増やし、話すことを楽しめるようなかかわりが出来たか。	33%	67%		
3	発達段階に応じて自分の気持ちを言葉で伝えることが出来るよう、傾聴的態度で子どもの話を聞くことが出来たか。	50%	50%		
4	友だちや保育者の話を聞くことが出来るように指導することが出来たか。	17%	83%		

(7)表現

	設問	A	B	C	D
1	日々の活動や戸外遊びを工夫し豊かな感性が育まれるようにすることが出来たか。	33%	50%	17%	
2	リズム遊びを通して音楽表現を楽しむことが出来るように配慮したか。		67%	33%	
3	喜びや楽しさ、悔しさ等の気持ちを全身を使って表現できる機会を設け共感することが出来たか。		67%	33%	
4	楽器の演奏や踊りを通してリズム感が養われるようにしたか。		50%	50%	16%
5	描きたいもの、見たものを自由に描くことが出来るような声掛けや指導だ出来たか。	50%	33%	17%	

(8)食育

	設問	A	B	C	D
1	色々な味に親しみ、喜んで食事が出来るようにしたか。	33%	67%		
2	食材に興味を持ち、名前を覚えるような声掛けが出来たか。	33%	67%		
3	食事中のマナーを知り、守って楽しく食事をするような環境が出来ていたか。	33%	67%		
4	栄養素について興味・関心を持ち、苦手な食べ物も食べられるように工夫が出来たか。		83%	17%	
5	野菜を育てる過程を楽しみ、収穫の喜びを味わい,達成感を得ることが出来るようにしたか。	17%	50%	33%	